

| 科目名 | 年度 | レポート番号 | クラス | 学籍番号 | 名前 |
|--------|------|--------|-----|----------|-------|
| API 実習 | 2022 | 3 | A | 20120045 | 小宮山啓心 |

レポートは極力 5 ページ以内とします。ページ数や文字数よりも、わかりやすく書けているかどうか、点数アップの分かれ目です。

API 連携について、実用的な API とその活用について調査すること。

○ 評価ポイント

- API 連携にどのような事例があり
- 具体的な実装方法について調べ
- 自分が使うのであれば、どんな使い方が考えられるか

○ NG 例

- 天気予報に使えると思うなどは NG。
 - なぜ使えるのか、きちんと根拠や考察を述べよう。

楽天とかアマゾンとかの私たちが普段使っているサービス(EC サイト)に API 連携は使われているようです。

EC サイト運営側の立場での実装方法としては、API 提供元に利用登録して利用するケースが多いみたいです。提供元のマニュアルに沿ってやられている方が多いみたいですが、主な実装方法としては 3 つ。

- 1、 外部 Web サービスに API の利用を申し込む（利用登録）
- 2、 「API キー」「シークレットキー」を取得する
- 3、 外部 Web サービスのリファレンスに従って API を実装する

この手順を行った後に、自社のサイトに API インターフェースがあるかどうかを確認します

あったらその IF を使ってサービスを連携しましょう。ない場合は「EC-CUBE」などから API プラグインをダウンロードして、クライアントへ API を提供して連携してもらいましょう。

-具体的な使い方-

「顧客データ」「商品データ」「受注データ」「在庫データ」「登録処理」

以上の機能が使えるらしいので、お菓子を月額で送るサブスクリプション制の会社を作ってユーザーのサービス利用から、商品の管理までこの連携が使えるのではないかと考えています。